

地域包括ケアシステム構築 へ向けた取組事例 ～鳥取県での取組～

特養等の施設機能を地域に展開

～活動地域の概要～

鳥取県境港市、米子市

境港市

●地域概況

弓浜半島の北端に位置し、三方が海に開けており、風光明媚な白砂青松の海岸線を有する。

●人口 36,004人

●高齢化率 65歳以上 27.4%
75歳以上 14.4%

米子市

●地域概況

東に国立公園大山、北に日本海、西に中海と豊かな自然に囲まれている地形。

●人口 150,019人

●高齢化率 65歳以上 24.9%
75歳以上 12.9%



米子市の特産白ねぎ



境港市は水木しげる先生の出身地



©水木プロ

特養を中心とした地域包括ケア体制づくりの例（社会福祉法人こうほうえんの場合）



～取組の概要～

取組の経緯

(背景・地域の課題)

- 従来は、介護サービス施設が高齢者が住み慣れた地域にはなかったことから、高齢者もふくめた地域全体を包括した視点での取組が困難であった。
- また、地域における社会資源も不足していたことにより、地域にサービスを展開していく必要があった。

(取組のポイント)

- ① 住み慣れた地域において介護等の拠点を立地
→ 世代を超えた地域住民との交流により、地域包括ケアの拠点となりうる。
- ② 特養の機能を地域に展開
→ 特養の施設職員のノウハウ・マンパワーの活用により、24時間定期巡回・随時対応サービスを効果的に実施。(小規模多機能型居宅介護、認知症グループホーム、医療系サービス等も併せて展開)
- ③ 上記の取組を効果的に実施するための工夫
 - ・ 次世代の担い手の育成も視野においた継続性のある地域包括ケア
 - ・ 世代間の交流、民生委員や地域住民など地域の他の社会資源と連携した地域福祉ネットワークとしての拠点を意識
 - ・ 高齢者だけではなく、広く生活困窮者等の社会参加を促進

取組の効果

- 小学校と隣接するなど住み慣れた地域に介護等の拠点を整備することで、地域住民と一体となった取組が可能。
- 施設機能を地域に展開することによって、施設だけでなく、在宅生活の継続の支援・在宅復帰支援を行い、地域で暮らす高齢者を多面的に支えることが可能。
- 職員が積極的に地域と関わることで、地域からの認知度が高まる。
- 世代間の交流が増え、地域のコミュニティの中心になる。
- 民生委員や地域住民などの、交流の場を提供することによって、地域ニーズを施設側とお互いに収集することができる。
- 地域住民と施設の一体感が芽生え、お互いが協力しあえる環境が育つ。

今後の展望

- 施設職員によるボランティア活動が、地域に根ざしていくことに期待。
- 地域の社会資源として住民に認識されるよう、積極的に施設から情報発信を行う。
- 地域ごとの特色を生かしながら、高齢者だけでなく子ども・障害者もトータルで支えるサービスの構築を目標とする。